

令和8年度

三島学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 基礎学力の定着を図り、個に応じた指導の推進
- 主体的に学習に取り組む習慣をつけるための授業改善

校長

松永 貴史

学力向上推進員

校長 松永 貴史 教頭 東出 稔 教務 品中 剛喜
 1学年主任 林 義真
 2学年主任 大塚みどり
 3学年主任 福田 恵
 国語科主任 大塚みどり 数学科主任 東出 稔

【各校の取組状況の把握について】

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

管理職による授業参観や教員相互の授業参観等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎・基本となるスキルがある程度身に付いていたり、与えられた課題にも真面目に取り組めたりできる生徒が多い。 ○方法や手順が示されている学習に集中して取り組むことができる。 ●身に付けた知識・技能を使った応用が苦手な生徒が多いことに課題がある。	・基礎的・基本的な知識・技能を習得することができる。 ・プリントやワーク等の基本的な問題を確実に解くことができる。 ・身に付けた知識・技能を学習の場や生活の場面に活用することができる。	・つまづいている生徒に対しては、個別指導を行ったり、学習アプリを使って苦手なところを復習したりする等の機会を設ける。 ・学習プリントやワーク等を活用し、定着させる。 ・授業改善と授業力向上のために研究授業を実施する。【大研・小研:2回以上(教科、各教科等)】			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○1人1台端末を活用し、調べたり、まとめたりすることができる。 ○個別学習、ペア学習やグループ学習に真面目に取り組む、学びを深めることができる。 ●全体の中で自分の考えを発表したり、相手にわかりやすく伝えることが十分でないことに課題がある。	・自分の考えを伝えることの大切さを理解するとともに、なぜそう考えたのか根拠や理由を明らかにして、自分の考えをわかりやすく表現することができる。 ・自分の考えだけにとどまらず、仲間とともに共有することができる。	・1人1台端末を活用し、生徒自身の考えを表現できる機会を増やす。 ・協働学習を効果的にし、他者と伝え合うことを通して、自分の思いや考えを明確にしたり、深めたりして、表現させる。(例:スピーチ、プレゼンテーション)			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○どの授業も一生懸命取り組むことができる。 ○基本的な学習態度が定着しており、与えられた課題に一生懸命取り組むことができる。 ●学校アンケートにおいて「学習が楽しくない」と回答している生徒が多いことが課題である。	・「家庭学習の友」や「キャリアパスポート」を有効活用し、自分の進路について考えることができる。 ・学習に計画性をもち、長期的に学習を進めることができる。 ・各教科の学習内容で自分の苦手なところや理解できていないところに粘り強く取り組むことができる。	・自己実現を目指し、教科等において進路を見据えた活動を取り入れる。 ・自己肯定感を高めるしなげを設定し、ポジティブ行動支援を心がける。 ・「徳島版読解力」を育成する学習のイメージに沿って学習活動を考え、学習によって身に付けた学び方を、新たな問題解決に活用させる。 ・学習アプリの活用や「GoGoタイム」の実施を通して、意欲を高めさせる。 ・学習アプリの使用頻度を定期的に確認し、積極的な活用につなげさせる。			